



TITLE:

禁輸及關稅二依ル包圍攻撃

AUTHOR(S):

神戸, 正雄

CITATION:

神戸, 正雄. 禁輸及關稅二依ル包圍攻撃. 經濟論叢 1917, 4(6): 861-876

ISSUE DATE:

1917-06-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127217>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

經濟論叢

號六第 卷四第

行發日一月六年六正大

論說

- 中壽ノ説(二).....法學博士 財部 靜治
奢侈税ノ本質及其構造.....法學博士 神戶 正雄
『座』ノ研究(三、完).....文學博士 三浦 周行
東洋ニ於ケル古代ノ社會政策.....瀧 本 誠 一

時事問題

- 船腹調節策.....法學博士 戶田 海市
禁輸及關稅ニ依ル包圍攻撃.....法學博士 神戶 正雄
米國ノ勞働缺乏ト日本移民.....米田 庄太郎

雜錄

- Utilityノ譯語ニ就イテ.....法學士 小島 祐馬
海上保險發展史ニ關スル一異説.....法學士 小島 昌太郎
山片幡桃ノ米價論.....法學士 本庄 榮治郎
精神の活力ト年齡.....法學博士 河 上 肇
佛領亞弗利加植民地鐵道ノ現在及將來.....山本 美越 乃
Ch. Boothノ死ヲ聞キテ.....法學博士 財部 靜治

禁輸及關稅ニ依ル包圍攻撃

神戸 正雄

緒言

日本人ハ目先ヲ見テ一喜一憂シ、永遠ノ慮ヲ爲サザルノ傾ガアル。今日歐洲戰亂ノ餘澤ニ依リ、輸出ノ大超過正貨ノ大増加ヲ享ケ、好景氣又好景氣ニテ有頂天トナリ、戰時ニ居リナガラ戰爭氣分トナラズ、戰時利得稅モ課セラレザレバ、儲ケルモノハ儲ケ放題デ、成金風ハ上ニモ下ニモ吹キ荒ミ、奢侈ノ弊害ハ停止スル所ヲ知ラザラントシテ居ル。來ルヘキ戰後ノ困難ニ處スヘキ準備トシテ今ニ於テ速カニ探ルヘキノ施設ナドハ朝野トモ一向ニ願シテ居ラナイ。其ノ間ニ戰局ハ時々刻々ニ變化シテ終末ニ近キツツアル。同盟側ニ於ケル塙匈ノ情氣、聯合側ニ於ケル露國ノ弛廢、英國ノ潛航艇打擊、此等ハ臆ガテ間モナク平和ヲ齎ラスヘキメ兆デ、此平和克復ノ場合ニ於ケル日本ノ地位ノ如何ニ變ハルヘキヤ、未ダ決シテ樂觀ヲ許サザルモノガアル。加之今日ノ戰時中ニ於テスラ、早ヤ既ニ各國ガ戰後ノ經濟戰ニ對スル準備計畫ニ取掛ツテ居ルバカリカ、實際之ガ第一着手ノ實行ヲ爲シツツアル。今ヤ我邦ハ實ハ禁輸ト關稅トノ包圍攻撃ヲ受ケツツアル。

其ノ我ニ加フル所ノ打撃ハ固ヨリ現在ニハ輕小デアルガ、戰後トモナラバ頗ル重大トナルヘキモノデアル。目先キ其影響ガ戰爭ノ好影響ニ蔽ハレテ良ク顯ハレナイトハイヘ、我々ハ此既ニ着手サレタル攻撃ヲ看過シテハナラス。又之ニ對シテ、今ニ於テ應急ノ處置ヲ探ルハ勿論、戰後ノ爲メノ大防備ヲモ怠ツテハナラス。敢テ茲ニ此一文ヲ作ル所以デアル。

一事 實

(一) 禁輸 詳シクイヘハ輸出禁止及特ニ輸入禁止ハ開戰以來各國ニテ多少ツツ行ハレタ。最近時ニ至テハ其ガ特ニ大仕掛ニナツテ來タ。左ニ其重ナルモノヲ列記スル。

(A) 英國 ハ一方ニ諸多ノ特ニ材料ノ

(イ) 輸出禁止 ヲ行ツテ居ル。中ニ就キ日本ニ取り最重大損害トナルノハ鐵材、機械、とつ

ぶデアル。とつぶハ日本ニテモ、右英國禁輸ニ刺戟セラレテ自ラ製出シ得ルコトニナツタカラ良イト思ツテ居タラ、今度ハ濠洲羊毛賣止ノ命令ガ英國政府カラ出タ爲メニ困ルコトニナツタ。其後最近ニナツテ四萬俵ダケ許サルルコトニナツタガ、其ハ單ニ日本ノ軍用ノミノ爲メラシイ。彼ハ又別ニ諸多ノ

(ろ) 輸入禁止 ヲ行フタ。特ニ最近ノ二月二十三日ノ禁令ハ最大袈裟ナルモノデ、品種六十

餘ニ亘リ、金額ニシテ二十億圓、船腹五百萬噸ニ達スト稱セラルル。但シ其後此禁輸ガ三月ニ入リテ緩和セラレテ、(1)絹製品(一九一三年中ノ總輸入額ノ五割)、(2)麥稈眞田(一九一六年中ノ總輸入額ノ五割)、(3)硝子壘(一九一六年中ノ總輸入額ノ五割)、(4)木材但帆檣製造用(無制限)ノ四種ヲ解禁スルコトトシタガ、更ニ五月ニ入リテハ特ニ羽二重ニツキテ一九一六年中ノ總輸入額ノ五割ト改メラレ、莫大小ニ對シ新ニ一九一六年ノ總輸入額(此莫大小ダケハ他ノモノガ金額ニ依ルニ對シ特ニ重量ニ依ツテ計算スルモノトス)ノ五割ガ解禁サルルコトトナツタ。

(B) 佛國　モ是迄諸多ノ禁輸ヲ行フテ居タ外ニ、三月二十二日附ニテ一切ノ外國產又ハ外國ヨリ來ル商品ノ輸入ヲ禁止シ、茲ニ一般的禁入ノ原則ヲ定メタノデ、此ハ又非常ナル打撃ヲ我國ニ與フルモノトシテ、驚駭シタガ、超エテ四月十三日ニ至ツテ、品目ヲ細別シテ自由輸入品ヲ少カラズ作ツタ。其第一表ノ物品ハ全ク自由輸入トシ、第二表ノ物品ノ輸入ハ禁止委員會ノ審査ヲ經テ特別許可ヲ受クルヲ要スルモノトシ、(但シ再輸出ノ爲メニ假リニ輸入スル場合ニハ自由)、第三表ノ物品ノ輸入ハ材木及金屬ニ關スル委員會ノ議ヲ經ルヲ要スルモノトシ、あるこゝる及りきゆるハ一定ノ場合ノ外之ガ輸入ヲ禁止シ、右各種ノ物品及前記二品以外ノ一切ノ物品ハ一定ノ數量ヲ限リテ之ガ輸入ヲ許シ、其數量ハ每三箇月ニ之ヲ改定シ、此數量ノ決定マデハ當分其輸入ヲ自由トシタ。(勿論三月二十二日前ニ既ニ輸入禁止トナレルモノハ此限デハナイ)斯クテ本邦ヨリ

佛國ニ輸入スル重要物品中デハ生絲、屑絲、眞田、豆類、樟腦、魚油及鯨油、寒天、木蠟、除虫菊、米、穀粉及澱粉、眞綿ハ第一表、羽、二重、蟹鑑詰、捺染もすりんハ第二表 銅ハ第三表ニ入レラレ、鉛、菜種油、捺染セザルもすりん、發火油、發火臘ハ品目表外ノ物品トセラレタ。

(C) 露國 ハ是迄モ種々ノ禁輸ヲ行ツタガ、二月十四日ニ奢侈品輸入禁止ヲ行ヒ、更ラニ國防ニ關係アル貨物ト認ムルモノノ外、普通箇人貨物ノ烏港經由露國輸入ノ一時中止(尤モ烏港及其附近ニテ消費サルルモノヲ除ク)ヲ五月三日ヨリ實施スルコトシタ。

(D) 伊國 モ種々ノ禁輸ノ外ニ、最近稍大仕掛ニ四月四日附ニテ、戰爭繼續中、外國產又ハ第三國ヲ經テ通過スル貨物ハ政府用トシテ輸入スル貨物、政府ノ別ニ定ムヘキ食料品及工業原料品ノ外、一切輸入ヲ禁止スルコトシタガ、其除外ノ條項ガアツテ、其ニ從ヒ五月一日附ニテ今後反對ノ命令アルマデ日本原產品并ニ日本ヨリ來ル一切ノ商品ノ輸入ハ政府ノ許可ヲ待タズシテ自由トシタ。

(E) 蘭領印度 ニテハ三月十三日ニ外國ヨリ輸入シタル貨物又ハ其ヲ以テ製造シタル貨物ヲ當分ノ間、輸出禁止ト爲シ、例外トシテ(1)石油及其副產物、(2)鋳力屑、(3)繪畫、(4)綿布類、(5)沃度銅、(6)旅行者携帶品、(7)鍊鐵屑及古鍊鐵、(8)現ニ船舶ニテ必要ナル船具ヲ舉グル。

(F) 英領印度 ニテハ最近ニ革、銑鐵ノ輸出ヲ禁止シテ日本ニ打撃ヲ與ヘタ。更ニ

(G) 支那　ハ厘錢ノ輸出禁止ヲ行ヒ。

(H) 米國　ニテハ別ニ此戰爭トハ關係ナキコトデハアルガ、日本ノ柑橘ノ輸入禁止案計畫中ト

ノコトデアル。此ハ日本ヨリ來ルモノニ病菌多シトノ理由ニ出ツルガ、最近ニハ又該菌ノ居ラザルコトノ證明書サヘ持來ルモノハ輸入ヲ許スコトニ改定ノ答ト傳エラレテ居ル。

(I) 濠洲　ニテハ又近ク奢侈品輸入禁止ヲ爲サントノ計畫ガアルトノコトデアル。但シ日本ノ絹製品ハ奢侈品ト認メラレズ、除外サルルモノト一般ニ考エラレテ居ル。

(二) 關稅　ノ引上ハ禁輸ホドニ多クハナイガ、其デモ方々ニ其實現ノ兆ガアル。

(A) 英領印度　ハ近ク從來三分五厘ナリシ綿糸外ノ綿製品、綿莫大小ヲ含ムノ輸入稅ヲ七分五厘ニ引上ケ、彼地ノ重要輸出品タル黃麻ノ輸出稅ヲ從來ノ二倍ニ引上グルコトトシタ。而シテ之ヲ二月一日ヨリ實施シテ居ル。

(B) 米國　デハ其參戰ノ結果必要トナリタル増稅ノ一部トシテ、既ニ關稅ヲ課セラレ居ル各種輸入品ニ一割ツツヲ増徴シ、未課稅品ニハ新ニ一割ノ關稅ヲ課スルノ案カ通過シサウデアルトイフコトデ、其モ六月一日實施ト内定シテ居ルトイフコトデアル。

(C) 支那　デハ目下懸案中デハアルガ、日本等ガ支那ニ對シ關稅ノ現實五分改定ヲ内諾シタト傳ヘラルル。此ガ事實トナツテ現ハルレバ、平均關稅ニテ一分五厘、子ロ半稅ニテ七厘五毛、計

二分二厘五毛ツツノ増徴トナルトイフコトデアル。

(D) 英國 デハ大英帝國會議ノ結果、其全領土ニ互ツテ戰後、本國及各殖民地間ニ特惠關稅ヲ行フコトトシタ。然ラバ

二 動 機

(一) 禁輸 ノ動機如何トイフニ、

(A) 輸出禁止 ノ方ハ大體、其國ノ軍需材料、并ニ國民生活材料ノ充實維持ヲ計ルトイフニ在ル。但ダ支那ノ厘錢ノ輸出禁止ダケハ一國ノ貨幣政策上ノ理由ニ出ル。

(B) 輸入禁止 ニ就テハ米國ノ惡菌防止トイフ特別ナルモノヲ別トシテ、奢侈矯正、正貨維持、戰爭支持トイフコトガ各國ニ共通ナル動機デアル。尤モ此以外ニ各國ニ多少ツツ特段ナル動機ガ加ハツテ居ル。例之(露國デハ鐵道輸送ノ困難、隨テ其滯貨ノ掃蕩トイフコトガ重要ナル理由デモアル。ろ佛國ノ禁入ニハ、英國ノ大禁入、隨テ佛國ノ絹物等奢侈品ノ英國輸入ノ大頓挫ヲ來セルニ對スル報復ノ意味ガ籠ツテ居ル。は英國ノハ表面ニハ船腹調節トイフコトヲ主タル理由トシ、裏面ニハ國產ノ獎勵保護トイフ目的ガ隱レテ居ル。勿論其船腹調節ガ彼ニ取ツテ重大ナルコトハ認メナケレバナラヌ。獨逸ノ潛航艇ノ威力ノ加ハルニ伴レテハ其モ尤モ至極トイハナケレバナラヌ。

(二) 關稅　ニツイテハ孰レモ目下ノ收入上ノ急ヲ救フコトガ、主目的デアルガ、併シ孰レモ若干ハ國產保護ノ目的ヲ有チ又ハ少クトモ斯カル結果ヲ齎ラス。支那ノ關稅引上、英國ノ特惠關稅ニハ此後ノ目的ガ重大デアル。

三 影　　響

右ノ如キ動機ヨリ右ノ如クニ日本ニ向ツテ四面ヨリ打チ出サレタル經濟上ノ大小砲銃ノ彈丸ニハ種々ナル種類ガアツテ、其ノ日本ニ及ホス影響ハ極メテ多樣デアル。我が之ニヨリ被ムル痛手ニハ淺キガアリ深キガアリ、一時的ナルガアリ、永續的ナルガアル。暫ラク之ヲ檢シテ、然ル後對策ヲ講ジヤウト思フ。

(一) 當面の影響

(A) 禁輸　ノ方デハ(い)米國ノハ其打撃イフニ足ラナイ。(ろ)蘭領印度ノハ此地ヲ足場トシテ他地ヘ分散サルル日本品ノ爲メニ不利デアル。(は)支那ノ厘錢禁出ハ新ニ勃興シタル日本ノ亞鉛工業者ノ爲メニ一打撃デアリ。(に)英領印度ノ革、銑鐵ノ禁出ハトモニ我が乏シキ工業原料ヲ愈々缺乏セシムルモノデアル。(ほ)濠洲ノ奢侈品禁入ニ至テハ、假令絹製品ガ除外サルルトモ、日本ヨリ彼地ニ行クモノニハ、他國ノ禁輸ニ於ケル先例ニ徴シ、奢侈品ニ編入サルヘキモノガ少カラヌカラ、

其實行ノ曉ニ於ケル打撃ハ輕クアルマイ。(ヘ伊太利ノ禁入ハ既ニ日本トノ交通聯絡ガ不便デ、貿易關係モ薄クナツテ居ルカラ、大シタコトハナイ。ノミナラズ日本品ヲ除外シタコトデモアルカラ、少クトモ今回ノ大禁輸ハ日本ヲ苦シメルモノデナイ。)(ト佛國ノ分モ我が彼ヘノ輸出品中重要ナルモノ五種ノ内、生絲屑絲眞田ノ三ハ第一表ニ屬スルモノトシテ全然自由トナリ、羽二重ハ第二表ニ屬スルモノトシテ特許ノ途ガアリ、銅ハ第三表ニ屬セシメラレタガ、所詮軍事上重要ナル材料ユヘ、大シテ打撃ヲ受クルコトニハナルマイ。)(チ露國ノハ各箇ノ品物ニヨリテハ困マルニハ相違ナイガ、我が彼ヘノ輸出ノ大部分ガ軍需品デアルカラ、我が輸出ハ全體上ニハ爲メニ甚シキ打撃ヲ受ケズ、却ツテ箇人貨物ノ行ケナクナツタダケ、軍需品ノ輸出ヲ進ムルコトトモナルデアラウ。)(リ英國ノハ比較的大ナル損害ヲ日本ニ與フル。最近ノ輸入禁止ダケデモ其損害貳參千萬圓ニ達スト見積ラルル。特ニ前來ヨリノ彼ノ禁入品ヲ概觀スルト、中ニ日本ノ生産條件カラ見テ洵ニ適當ナル工業品デアツテ、此度ノ戰爭ニヨリ獨逸品ガ英國市場隨テ其支配ノ下ニアル世界各地ノ市場ヨリ排斥サルコトトナツタニ就キ、其缺ヲ補フヘク進ンテ來テ、將來モ日本ニ取リ極メテ有望ト目サルルモノガ禁入トセラレタノガアル。陶磁器、刷毛、玩具、莫大小ノ如キガ其デ、其等ガ大體奢侈品ト稱スル程ノモノデナイニ於テ、洵ニ遺憾デアル。影響ハ一時的ノミデナク、永續的デモアル。當面ノ影響トシテハ、斯クテ一面ニ比較的不必要ナル物品ノ購入ガ制セラレ、隨テ其

船腹ニ餘裕ヲ生ズルダケ、他方必需品ノ輸入ヲ増加スルコトニナルカラ、全體上ハ我對英輸出ニ左程大ナ減少ヲ生ズルニハ至ルマイ。彼ノ輸出禁止ノ分ノ中、鐵材及機械ハ英國品デナクテハトイフ獨特ノモノガアリ、隨テ其禁出ハ日本ノ工業ニ大苦痛デアル。多少ハ米國等カラ補フテ居ルガ、分量ニ於テ品質ニ於テ思ハシクナイ。濠洲羊毛賣止メニ至テハ最多ク困ル。曩キニどつぶノ禁出ニ遇フテ困マツタ上旬、日本デモどつぶガ出來ルコトニナツテ、今ハ羊毛サヘ得ラルレバ良キコトトナツタノニ、濠洲羊毛ヲ賣止メラレタノデ困マル。四萬俵ノ解禁ダケデハ軍事以外ノ分ハ充タサレナイ。南阿あるさんちんヨリ補充シ初メタガ、分量ニ於テ品質ニ於テ思ハシクナイ。爲メニ折角ノ日本ノ加工能力モ十分ニ發揮セラレザル所デアル。

(B) 關稅 ニ於テハい(印度ノ分ハ營業者ノ見込デハ大シタコトハナイトイフ。其理由ハ印度行ノ我綿製品ニハ印度自身ニ行クヨリハ印度ヲ經由シテ印度洋岸ノすえす以東喜望峰以北ノ地方ニ分配サルルモノ并ニ印度ニテハ殆ンド生産セザルモノガ少ラザル故トイフニ在ル。特ニ日本品モ英本國品ト對等ニ課稅セラルルカラ、其トノ競争上カラモ優ニ關稅引上ニ堪エ得ル。(ろ米國ノ關稅引上ハ、既ニ四五割トイフ重稅ヲ負ハサレテ居ル所ノ絹織物ノ如キハ輕カラザル打撃ヲ受クヘキデアルガ、我ノ彼ヘノ最重要輸出品タル生絲ノ如キハ一割位ノ新課稅モ大シタ影響ハ少クトモ戰時中ハアルマイトイフコトデアル。其ガ彼ノ織物業ニ必要ナル原料デアリ、彼國ニハ全ク出來

ズ外國ヨリ輸入スルノ外ナク、而モ此戰時中、歐洲ヨリ輸入スルコトモ難キ所デアリ、其ノ之ヨリ作ラレタル絹織物モ彼國デハ大シタ贅澤品デハナク、特ニ此戰爭ニヨリ彼國人ノ購買力モ著シク大クナツタコト故、旁々大打撃ヲ受クルコトハアルマイ。^(ハ)支那ノ關稅改定ハ之ト比較スルト増率ハ低イガ、其増稅ヲ負フヘキ物ニ關スル我國ノ工業ニハ、支那自身ノ工業ト競爭ノ地位ニアツテ、隨テ些少ノ増稅モガ我ノ競爭力ヲ弱メルコトノ少カラザルガアリ、其ノ然ラザルモノト雖モ、支那人ノ小ナル購買力ニテハ、小ナル増稅デモ之ヲ彼ニ轉嫁スルコトガ難イ傾ガアル。兎モ角日本ノ此關稅引上ニヨリ受ル打撃ハ輕視スルヲ許サヌ。尤モ其實現サルルヤハ未定デアル。^(ニ)英全土ニ亘ル特惠關稅ハ此ハ當面ノ影響ヲ生スルモノデハナイ。

孰レニセヨ右ノ禁輸及關稅ハ全體上、當面ニハ大シタ損害ヲ日本ニ與エナイ。日本ノ現下ニ於ケル大勢タル輸出ノ大超過、正貨ノ大増加ヲ阻止スル如キ兆候ヲ認ムルコトヲ得ヌ。此點ハ寧ロ安心シテ可ナリデアル。

(二) 永續的影響

^(A) 禁輸　ノ中い米國支那ノハ特別ノ理由ニ出ルモノ故別トシテ其他ハ凡ヘテ戰時ノ爲メノ一時的處置デ、戰後ニハ多分解除サルヘキ運命ヲ有ツ。併シ此禁輸ガ蘭領印度ノ分ノ外ハ、戰時中其々ノ國ノ産業ヲ保護發達セシムルノ效果ヲ有チ、此厚キ保護ノ下ニ發達シ又ハ成立スルコトヲ

得タル産業ガ、戦後ニナリテ此禁輸ノ解カレタル曉、果シテ之レナクシテ立行ケルデアラウカ。恐ラク勢ヒ少クトモ關稅ノ賦課又ハ引上ヲ要スルデアラウ。特ニ各國トモ戦後ニハ、戰爭負擔ノ遺サレタルモノノ爲メニ財政上大需要カアリ、此點カラシテモ關稅ノ收入増加ヲ計ラザルヲ得ザルコトナル。其上ニモ此戰爭ニ依リ刺戟セラレタル國家分裂的精神ノ爲メニ、戦後軍備ヲ出來ルタケ擴張スルコトトモナリ（戰爭ノ負擔モアルコト故、到底此戦後ノ軍備擴張が大ナルモノナルコトハ出來マイ。又他方ニ戰爭ノ愚ナルコトヲ感ジテ激烈ナル平和論モ起ツテ、大規模ナル軍備擴張ヲ妨グルデモアラウ）少クトモ其ヲ補充スルノ必要ガアツテ、此點カラノ財政上ノ需要モアリ、旁々保護關稅ヲ助成スルデアラウ。實ハ禁輸ノ現在ノ影響ヨリハ此戦後ニ及ブベキ影響ノ方ガ日本ニ取リテ恐ロシイ。

(B) 關稅

(い) 米國ノ關稅引上 日本ヨリ米國ニ往ク物ガ多クハ原料品デアツテ、製造品デモ勞力ニ依ルコト大ナルモノデ、米國ニ競争品ナキカ又ハ少キモノ故、且ツ又彼國民ノ購買力ノ大ナルコト故、我が彼ヘノ輸出ガ夫ノ一割位ノ關稅引上ノ爲メニ大打撃ヲ受クルコトハアルマジトモ考エラルガ、其デモ戦後ニ至リ此目下ノ好景氣ノ經過シ去ツタ曉ニハ、此一割ノ關稅ガ可ナリ日本ノ輸出ヲ抑制スルコトトナルデアラウ。特ニ一旦引上ケタル關稅ハ戦後持續サル可能ガ大イカラ、此戦後ノコトヲ考フルト、米國關稅ノ引上ハ決シテ雲烟過眼視スヘキモノデナイ。(ろ) 支

那ノ關稅引上ハ確カニ支那ノ我トノ競爭産業ノ發展ヲ導キ、我國工業ヲ多少トモ苦シムルコトニナル。彼國工業ハ益々發達ノ氣運ニアツテ、例之彼國ノ紡績業ノ如キモ決シテ侮ルコトヲ得ザルモノデアル。特ニ一度其關稅ノ引上ヲ承諾シタルトキハ、此後トモ時機ヲ見テハ又復タ此要求ヲ重ヌルコトトナリテ、應接ノ暇ナキニ至ルデアラウシ、他方ニ重要原料ノ輸出稅ニテモ廢止サルルコトヲ得レバマダ良イガ、此モ出來ザルコトニナレバ、愈々以テ日支ノ經濟關係ヲ疎隔シ、折角日本ガ支那トイフ近クデ最勢力ヲ及ボスニ都合ノ良キ處ヲ持チナガラ、經濟上十分ニ之ヲ利用スルヲ得サルコトトナル。確ニ日本ノ永續的活動ノ爲メニハ大問題デアル。(ハ)印度ノ今回行フタ一二ノ關稅引上ハマダ良イトシテモ、之ヨリシテハ之ヲ手初メニ種々ノ物ニツキテ關稅増徴ヲ齎ラスコトトナラザルカ。折角我國ハ一方ニ印度ヨリ棉花ヲ巨額ニ買來リ、兎角片貿易トナルノヲ矯正セントシテ、此ニ向ツテノ販路ヲ擴ゲルコトヲ計ツテ居ル矢先キ、決シテ此關稅ノ引上ガ良イ徵候デハナイ。加之(英全土ニ亙ル、特惠關稅ニ至テハ、假令日本ガ獨逸等ヨリハ有利ノ扱ヲ受ルコトトナツテモ、尙ホ英本國工業ニ比シテ不利トナラザルヲ得ザラシムル。日本品ノ販路ヲ彼ノ洪大ナル領土ニ擴張スルコトハ困難トナリ、更ニハ我ヘノ原料輸出稅ナドモ起ルコトニナツテ、折角彼等ヨリ原料ヲ仰グコトモ困難トナルデアラウ。此ニ至テハ日本ハ前面英領土ヨリ驅逐セラレ、後面支那ヨリ排斥セラレテ其立場ヲ失フコトトナラザルヲ得ナイ。日本ガ支那ノ關稅引

上ヲ承諾スルトセバ、其ニハ日本ガ少カラズ英國ノ爲メニ盡ストイフ意義ガアル。其日本ガ英國ノ爲メニ盡ストセバ、其ニハ又日本ガ英國ノ領土ヨリ經濟上ノ利益ヲ受ケタイトイフ意味ガアル。而シテ事ノ成行上、我ノ得ヤウトシテ居ルニモノヲ併セテ失フコトトナラザルカ、是レ心配ニ堪エザル所ノモノデアル。

四 對 策

(一) 應急策

(A) 禁輸 ニ對シテハ、凡ヘテ不取敢、外交上ノ手段ニヨツテ成ルヘク其緩和スルヤウニ努ムルコトガ望マシイ。(イ) 支那、米國、蘭領印度ノ分ハ餘リ此方ヨリ抗議スルコトモ出來ナイガ、(ロ) 英露佛伊等ニ對シテハ、共同交戰與國タルノ關係ニ考ヘテ、我ニ寛大ナル態度ニ出テンコトヲ要求スヘキデアル。然リトテ斯カル關係ノミヨリ彼等ニ解禁ヲ迫マルコトハ少シク無理デアル。一方日本ガ他ノ與國ノ戰爭ヲ利用シテ金儲バカリシテ居テ、他方交戰國ガ國命ヲ賭シテ戰爭ヲ行ヒ其戰爭ヲ維持スル爲メニ、船腹(露國ノ方デハ鐵道ノ貨車)ヲ調節シ、正貨ヲ充實シ、國民ノ奢侈ヲ抑制シ、國民ノ眞面目ヲ發揮セシメントシテ禁輸ヲ行フノニ、日本ガ唯タ與國タリトノ口實ヲ以テ此禁ヲ解ケトイフハ餘リニ虫ガ良過グル。デ此ニハ我モ若干ノ利益ヲ犠牲トシ、彼ヲシテモ

之ニ相當ナル利益ヲ犧牲ニ供セシムルコトトスルノ外ハナイ。即チ我ハ彼ト胸襟ヲ披イテ、先ツ彼ノ最必要トスル船腹ニツキ金融ニツキ彼ニ利便ヲ與フルコトトスヘキデアル。詳シクイヘバ我比較的餘リアル船舶ヲ以テ彼ノ輸送ヲ引受クルトカ、更ニハ折角我ニ於テ餘リアル造船能力ヲ以テ、彼ヨリ材料ノ供給ヲ受ケテ造船ヲ引受クルトカ、軍需品ノ注文ヲ受ケラハ其代金ノ支拂ヲ公債ニ依ルコトヲ許ストカ、正貨ヲ本國ニ持歸ラヌトカ、更ニハ特ニ露國ノ場合ニハ鐵道ノ貨車ヲ送り、及之ヲ操縱シ並ニ保線ヲ爲ス爲メニ人ヲ送ルトカシテ、彼等ヲ援助スルコトモ必要デアラウ。孰レニシテモ我ニ於テ出來ルダケノ利便ヲ供シ、忠實ニ彼ノ爲メヲ計リテ、其對價トシテ夫ノ解禁ヲ爲シ、以テ我ニ利便ヲ供セシムヘキデアル。其モ併シ際限モナク要求スルコトハ無理デアル。我ハ十分彼等ノ地位ヲ推測シテヤツテ、彼ニ甚シク不利トナラザルモ日本ニトリ大ナル利益トナルガ如キモノニツキテハ凡ヘテ遠慮ナク我ノ事情ヲ訴ヘテ要求スヘキデアル。我ガ彼トノ交渉ニ於テハ遠慮ヤ虛偽ハイゲナイ。正直ナル我ノ事情ヲ打明ケテ、胸襟ヲ披イテ協議スヘキノデアル。

(B) 關稅　ニ對シテハ(い)米國ノ如ク國內法で定ムルモノニハ我トシテ外交上施スヘキ應急ノ方法ハナイ。(ろ)併シ支那ノ關稅ニ至テハ、外交上之ヲ拒絶スル能ハザルノ内情モアラウガ、少クトモ其ノ影響ヲ緩和シ又ハ其實行ヲ延期サスル等ノ工夫ヲ忘ツテハナラス。(は)印度ノ關稅引上モ

今度ノハ彼トシテ已ムヘカラザルモノトシテ置カナケレバナラスガ、^(C)全英ノ特惠關稅ニ對シテハ、今日速カニ抗議シテ置カヌト、戰後ニナツテ大ニ困ラナケレバナラスコトニナル。此ニツイテハ我ハ英國トノ間ニ協定シタル巴里經濟決議ノ精神ニ基イテ抗議スルコトガ出來ル。

(二) 根本策 既ニ關稅引上トナリタルモノガ、戰後ニ撤回サルカトイフト、其見込ハ少ク、ムシロ持續サルコトトナルノ傾ガ大イ。否ナ支那ノ如キデハ一旦引上ノ認メラレタル後ハ又復タ引上ヲ要求スルコトトナルデモアラウ。而シテ禁輸ノ方モ、此禁輸ノ下ニ養ハレタル産業ヲ保護スル爲メニ、戰後關稅賦課ガ之ニ代ル傾向ガ大イ。斯クテ此戰後ニハ原料ノ輸出稅及特ニ製造品ノ輸入稅ノ賦課ガ盛トナルヘキ運命ニアルカラ、此必然ノ運命ニ對シテハ、戰後ニナツテ對策ヲ講ジテハ時既ニ遅シ、今カラシテ之ヲ計畫シナケレバナラス。其ニハ^(A)我國モ亦タ關稅ニヨツテ之ニ應ズルモ一方法ノヤウデアルガ、日本ノ如ク輸入品トイヘバ原料トカ機械トイフ生産上ノ必要材料ノ多キ處デハ、之ニ依ルノハ却ツテ自殺的行爲デアル。關稅ニ訴フルモノハ極メテ必要ナル最小限度ニ止メナケレバナラス。^(B)ムシロ根本的ニ非常ナル覺悟ヲ以テ技術上ノ改良ヲ爲シ、^(C)更ニ特ニ組織ヲ改良スル。即チ企業ノ合同、聯合、組合ヲ盛ニシテ、競争力ヲ大ナラシメナケレバナラス。其等ハ生産費ヲ減少スルガ爲メニモ、製品ノ品質ヲ良好ニスルガ爲メニモ有功デアル。粗製濫造ヲ慎ムトイフガ、此ニモ結局ハ組織ヲ大クスルノガ根本的ノ矯正方法デアル。^(D)又

小組織ノ生産ニ屬シ、組製濫造ノ傾大ナルモノニハ氣ノ毒ナガラ輸出検査ヲ嚴重ニスルノ國家的
制度ヲ要スル。其等モ今カラ着手シテ置カナケレバ、益々戰時中ニ信用ヲ失墜シテ、戰後日本ノ
販路ガ大ニ梗塞スルデアラウ。(E) 其他交通上ノ改良即チ鐵道ノ擴張、補助航路ノ増加、其レカラ
各種金融ノ改善ノ必要ナルコトハ勿論デアルガ、(F) 尙ホ一ツ此戰時ニ於テ利益ノ大ナリシ事業ニ
對シ、戰時利得稅ヲ課シテ利益ヲ國家ニ取去ルコトヲ計ラズトモ、少クトモ會社企業ニ對シ此戰
時利益配當率ノ制限ヲ國家ノ制度トシテ定メテ、其積立金ヲ充實セシムルヤウニ導キ、以テ彼等
ノ戰後ノ競爭力ヲ大ニスルコトガ必要デナカラウカト思フ。

附記——本文脱稿後、英國禁輸ノ一部解除ニツキ新事實發生シタルニ依リ、左ニ之ヲ附記スル。(八十三頁參照)

英國ハ特ニ日本ノ爲メニ左ノ解禁ヲ行ツタ。

- (一) 亜麻絲及同製品、手製綿れーす(無制限)、(二) 絹、(絹製品ヲ含ム)、漆器、麥稈、(經本良田ヲ含ム)、安寶母尼製品、綿、莫大小
- (綿製手袋ヲ除ク)、(一九一六年中日本ヨリ英國ニ輸入シタル重量ノ五割)、(三) 機械製綿れーす、繒及竹製籠、(一九一六年中日本
- ヨリ英國ニ輸入シタル價格ノ五割)、(四) 襪、(一九一六年中日本ヨリ英國ニ輸入シタル價格ノ二割五分)、(五) 防水セザル服裝品、(一
- 九一六年中日本ヨリ英國ニ輸入シタル重量ノ二割五分)